

花粉のでない
シンテッポウユリ

「あきた清ひめ」

秋田県農業試験場

1 この品種を開発した目的

ユリの花粉は花卉や衣服等を汚して問題となることから、花粉のでないシンテッポウユリ『あきた清ひめ』を育成しました。花き販売業者の省力化に繋がり、新たな需要を喚起することが期待されます。

2 品種の特性・用途・セールスポイント

- ① 雄しべがあり、やくはできるが花粉は発生せず、温度環境などで花粉が回復しない。
- ② りん片挿しで増殖可能で、種子系品種とほぼ同じスケジュールで切り花栽培が可能である。
- ③ 花は、やや小ぶりの上向き咲きで、出荷調整の際に取り扱いやすい。
- ④ 開花期は、雷山2号よりもやや早い。
- ⑤ 生花店等では、開花時に葯を取り除く手間が省け、蕾で販売した場合でも販売先で花卉を汚すリスクがない。



3 育成経過

- 「F1はつき」に「雷山2号」の笑気ガス処理花粉を交配した系統の中から無花粉の株を分離
- 無花粉株に有花粉の同系統を交配して得られた無花粉個体群を「秋試1号」とし、特性調査、優良系統選抜、現地試験を行い、令和2年3月に品種登録出願

★この品種に関する問い合わせ先★

秋田県農業試験場 電話 018-881-3312